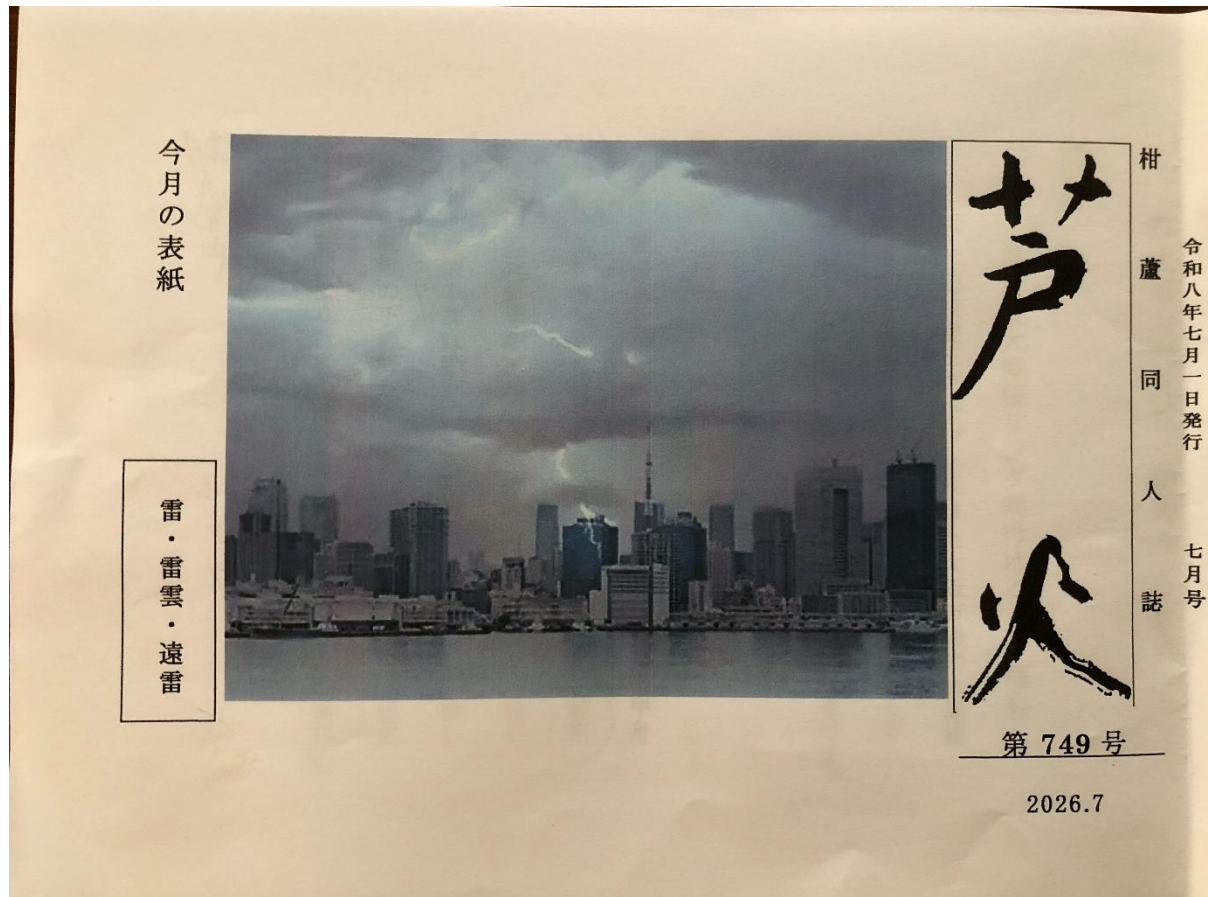


俳句の会「芦火」

☆柑蘆同人誌「芦火」第749号（令和八年七月号）

・表紙：「雷（三夏・天文）（次月兼題）」



【表紙の説明】

今月号の表紙は東京湾から見た東京タワー界隈の景です。稲妻が発生しているのがわかります。あるいは屋形船からのショットかもしれません。

【季語・雷（三夏・天文）】

【子季語】神鳴、いかづち、はたた神、鳴神、遠雷、雷雲、落雷、雷火、雷鳴、雷声、雷、雷雨、雷響

【解説】積乱雲の中などで雲と雲、雲と地上の間で放電現象が起きたもの。電光が走った後に雷鳴がとどろく。光と音の時間差でその遠近を測る。

【有名俳人の句】

・遠雷やひとり昼餉の青菜汁／石橋秀野

- ・迅雷やおそろしきまで草静か／原石鼎
- ・雷落ちて火柱みせよ胸の上／石田波郷
- ・安達太良の雷火に幾度通ひけむ／前田普羅
- ・はたゝ神七浦かけて響みけり／日野草城
- ・遠雷や福耳垂れて老法主／日野草城
- ・鳴神や暗くなりつつ能最中／松本たかし
- ・空港のごつた返せる雷雨かな／長谷川權

☆高得点者および高得点句

*前月の清記表に記載された10名の50句のなかから互選の結果、以下の同人が高得点者となりました。併せて高得点句も掲載します。

<高得点者(敬称略)>

22点 穂心、12点 温州、9点 恵吾、8点 勝

<高得点句(4点以上)>

- ・ハンカチのイニシャルだけの恋ごころ／穂心・・・6点
- ・本堂に寄らず参らず牡丹寺／恵吾・・・・・・6点
- ・母の日や娘の見せる母子手帳／穂心・・・・・・6点
- ・夏夕焼大屋根リング解けゆく／穂心・・・・・・6点
- ・鯉のぼり腹一杯に天の風／六甲・・・・・・5点
- ・列車待つ無人駅舎や若葉風／温州・・・・・・4点
- ・葉桜の下の野点や砦跡／碧亥・・・・・・4点
- ・雲間より行者の滝の落ちにけり／温州・・・・・・4点

<惜しい3点句>

- ・フルートの音を運びし初夏の風／甲舟
- ・十年の施設暮らしや花は葉に／要

☆特選句および選評

*50句の中で特によかったと思った句に選評を付して各人が一句選びます。特選句には2点のポイントが与えられますが、特選句が必ずしも高得点句になるとは限りません(高得点句になるには多くの同人の選句が必要です)。

- ・ハンカチのイニシャルだけの恋ごころ／穂心・・・・・・2名の選
(選評)・恋する思春期の若者は、相手のイニシャル入りのハンカチを見ただけでも、ドキドキ、ワクワクするものです。
- ・かわいらしい。デュークエイセスの「幼なじみ」の中の二人みたいだ。幼稚園児か？

- ・鯉のぼり腹一杯の天の風／六甲・・・・・・・・・・ 2名の選
 (選評)・「腹一杯」がいいですね。鯉のぼりが泳ぐ空の青さまで目に浮かぶようです。
 ・景としては当たり前の鯉のぼりが風に泳ぐ姿。「天の風」と呼んだことで特別感が出ました。
- ・本堂に寄らず参らず牡丹寺／恵吾・・・・・・・・・・ 1名の選
 (選評)・仏心はさておき牡丹一筋が良い。
- ・母の日や娘の見せる母子手帳／穂心・・・・・・・・・・ 1名の選
 (選評)・今や子どもの母となった娘。時間の流れをしみじみとかんじさせてくれる句だとおもいます。
- ・夏夕焼大屋根リング解けゆく／穂心・・・・・・・・・・ 1名の選
 (選評)・建設費三百億円をかけた大阪万博の大屋根リングの上に私も一回登って驚いた。よくぞやったと感心したが、解体されるのは残念です。
- ・熊野灘橋杭岩の卯波かな／勝・・・・・・・・・・ 1名の選
 (選評)・初めて訪れた時の実景を思い出します。小生の日常にはない壮大な景観でした。
- ・ほうたるや捕へし子らの輝く目／勝・・・・・・・・・・ 1名の選
 (選評) ほうたるの輝く光と、子供のほうたるを捕えた喜びの目の輝きを上手く表現しています。
- ・禪やすべてを忘る滝の行／勝・・・・・・・・・・ 1名の選
 (選評)・「全てを忘る滝の行」に心引かれた。
 かつて私は四国遍路をした時、一日中人にも会わず唯黙々と山中の遍路道を歩いた途中でふと感じた頭の中が空洞になった様な感覚を思い出した。

☆その他のトピックス

1. 今月号の清記

◎今月は10名の方が合計50句を出句されました。

2. 近況報告等

◎穂心様より「草炎さん お元気でお過ごしでした」との報告がありました。

姫路での句会の前に、暫く投句から遠ざかっておられた草炎さんを穂心様が訪問されたとのこと。お元気な様子だったそうです。何よりです。

◎修平さんより、柑芦会顧問のお立場より、今年で設立百周年を迎える柑芦会が、本年四月に任意団体から一般社団法人へと衣替えしたことのご報告がありました。

一般社団法人になって何が変わるのかのご説明をされています。

ここでは仔細には触れませんが、各支部経由あるいは柑芦会本部からのご案内をご参

照ください。

また、設立百周年を記念して今年11月29日(日)にホテルグランヴィア和歌山で開催される「柑芦会設立百周年記念式典」に多くの同窓が参加されることを呼びかけておられます。

◎温州より、柑芦会公式フェイスブックに『芦火』の活動のおしらせ』を掲載した旨報告させて頂きました。

◎碧玄様、要様、勝様より近況報告がありました。

お三方ともお元気そうで何よりです。

◎穂心様より、「漢字の心」というタイトルのエッセイを掲載して頂きました。

内容は「いれる」はどのような漢字で表わされるかというのですが、文脈、文章の前後関係等によって色々あるものだというのですが、なまじっか知ってしまうと漢字表記に拘ってしまって、かえって面倒という側面も否定できないと。

「いれる」は一般的には「入れる」で済ますことができますが、「コーヒーをいれる」場合は「淹れる」で表記することも出来るようですが、特に作句の場合にはこのように「淹れる」を使うようですね。この方が読み手に伝わりやすいとのことのように「淹れる」を使うようですね。この方が読み手に伝わりやすいとのことのように漢字を使う場合にはより適切な、特に作句の場合には、句の真意が伝わるような漢字を使う必要があるようですね。

<俳句の会「芦火」概要>

- ・会員は柑芦会会員
- ・現在の会員は大学3期卒から25期卒の11名
- ・昭和38年(1963年)結成・・・約60年の歴史
- ・会員の作句は通信俳句誌「柑蘆同人誌・芦火」に掲載され毎月各人に配付
- ・創刊以降毎月発刊。令和4年(2022年)6月に第700号発刊。
- ・50号ごとに句誌を発刊。令和4年5月に「芦火第14号句集」発刊
- ・創刊時からの延べ会員数、72名(高商32名、高商教授1名、大学39名)

<編集者・コンタクト先および会費>

- ・編集者：穂永 千秋(大学17期)(俳号：穂心)
メールアドレス：suishin2010@dream.ocn.ne.jp / 携帯：090-9887-2513
- ・その他のコンタクト先：
 - ・山下 勝(大学14期・前編集者)(俳号：勝)
メールアドレス：yama723@nifty.com / 携帯：090-1349-6727
 - ・平林 義康(大学20期)(俳号：温州)
メールアドレス：hirabayashi9497@yahoo.co.jp / 携帯：090-8525-7293
- ・会費：年会費1万2千円

以上

(文責：平林 温州)